



「京賀茂なす」GI認証登録！～7年越しの悲願成就～

3月18日、農林水産省は、農林水産物や食品の地域ブランドを守る地理的表示（GI）保護制度に、上賀茂特産品である「京賀茂なす」を登録すると発表しました。

同日に表彰式が行われ、上賀茂特産野菜研究会の玉田芳弘会長が農林水産省の山本佐知子政務官からGI登録証を受け取られました。

登録までに約7年間を要し、念願の登録となりました。登録を受けて、玉田芳弘会長は「登録いただき大変光栄。登録までにはたくさんの関係者の皆様のご協力があったことだと感じている。今後は京賀茂なすのブランド力向上に向けて取り組みを展開していきたい」と想いを打ち明けました。



▲GI登録証が山本佐知子農林水産大臣政務官より授与



▲「京賀茂なす」をはじめ7品目がGI認証を受けました

「すぐき」が100年フードに認定

～府内で4件目。アピール強化を図る～

「100年フード」は地域で長く愛された食文化であることを示すもので、全国で300件が認定されています。すぐきは「京漬物すぐき」として認定され、府内では4件目となります。また、本年度認定を受けた50件のうち、特に評価が高かったことを示す有識者特別賞に選ばれました。

今回の認定で100年フードロゴマークが使用可能となり、本年度の出荷する商品にシールを貼るなどしてアピールする予定とのことです。

また、「登録無形民俗文化財」の登録も目指しており、京のすぐき倶楽部の渡邊源会長は「先祖代々が受け継いできたすぐきが、評価されてうれしい。文化財についても登録できるようにしたい」と話していました。



▲100年フードの認定を受けた京の上賀茂すぐき倶楽部の皆様

「すぐき」については、
YouTubeで配信中



◀ロゴマークは本年度の出荷から使用される見通しです